

価値創造の歴史

時代の変化に対応し、 社会の要請に応え続けてきました

太陽誘電は創業以来、主力商品である積層セラミックコンデンサを中心に、インダクタや通信用デバイスなど、社会の要請に応じて様々な電子部品を世の中に提供し、価値を創造してきました。



太陽誘電の価値提供

1950年9月
チタン酸バリウム磁器コンデンサ
「ルチルコン」を商品化



1954年9月
小型フェライトコア
「フェリットコア」の生産を開始

1964年9月
技術研究所を設立

1967年5月
台湾・台北市に
初の当社現地法人を設立



設立当時の台湾太陽誘電

1970年3月
東京証券取引所市場第二部に上場。
1973年に一部に指定替え

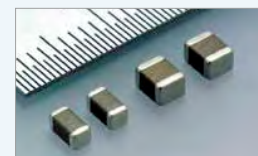
1976年7月
アキシシャルリード型磁器コンデンサを
世界で初めて商品化



1977年10月
世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発

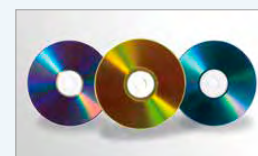


1984年7月
世界初のニッケル電極大容量積層
セラミックコンデンサを開発



「3216」「3225」タイプ

1988年9月
世界初の追記型光記録メディア
「CD-R」の商品化を発表



DVD-R、BD-R、CD-R

1999-2000年
海外4生産拠点を
同時立ち上げ



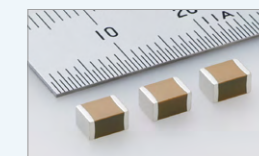
TAIYO YUDEN (SARAWAK)

2001年4月
Bluetooth®フルモジュール、
Bluetooth®規格Ver1.1認証を
世界で初めて取得

2010年3月
太陽誘電モバイルテクノロジー
株式会社を子会社化

2018年4月
エルナー株式会社を子会社化

2018年5月
世界初、静電容量1,000 μ Fの
積層セラミックコンデンサを開発



4532サイズ(4.5mm×3.2mm、1,000 μ F)

2024年12月
世界初、メタル系パワーインダクタで
薄さ0.33mmを実現



積層メタル系パワーインダクタ
「MCOIL™ LSCNシリーズ」
(1.0mm×0.5mm×0.33mm、0.47 μ H)